

第11期決算説明会資料

平成20年9月17日



株式会社エムビーエス(福証Q - Board・1401)

〒755-0067 山口県宇部市小串74番地の3

電話:0836-37-6585(代表) / FAX:0836-37-6586

E-mail : info@homemakeup.co.jp

<http://www.homemakeup.co.jp>

本資料は、当社の事業内容及び事業戦略に関する情報の提供を目的とするものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘する目的としたものではありません。また本資料に記載した意見や予測などは、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性及び完全性を保証し又約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

1. 第11期(20/5期) 決算概要について

1-(1) 損益計算書の概要

1-(2) 売上高セグメント別増減要因分析

1-(3) 支店別売上高推移

1-(4) 経常利益マイナスの要因分析

1-(5) 貸借対照表の概要

2. 第12期(21/5期)の重点施策について

3. 第12期(21/5期)の業績予想について

4. ホームメイキャップ事業を成功させる事業環境について

5. 現在注目されている施工事例

6. 施工事例

7. 今後の事業戦略について

1. 第11期(20/5期)決算概要について



(1) 損益計算書の概要

	19年5月期		20年5月期		
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
売上高	838	100	1,101	100	31.3
営業利益	30	3.7	9	0.9	
経常利益	50	6.0	43	3.9	
税引前当期純利益	49	2.5	57	5.2	
法人税等調整額	21	2.5	3	0.3	85.7
当期純利益	28	3.4	60	5.5	

1. 第11期(20/5期)決算概要について

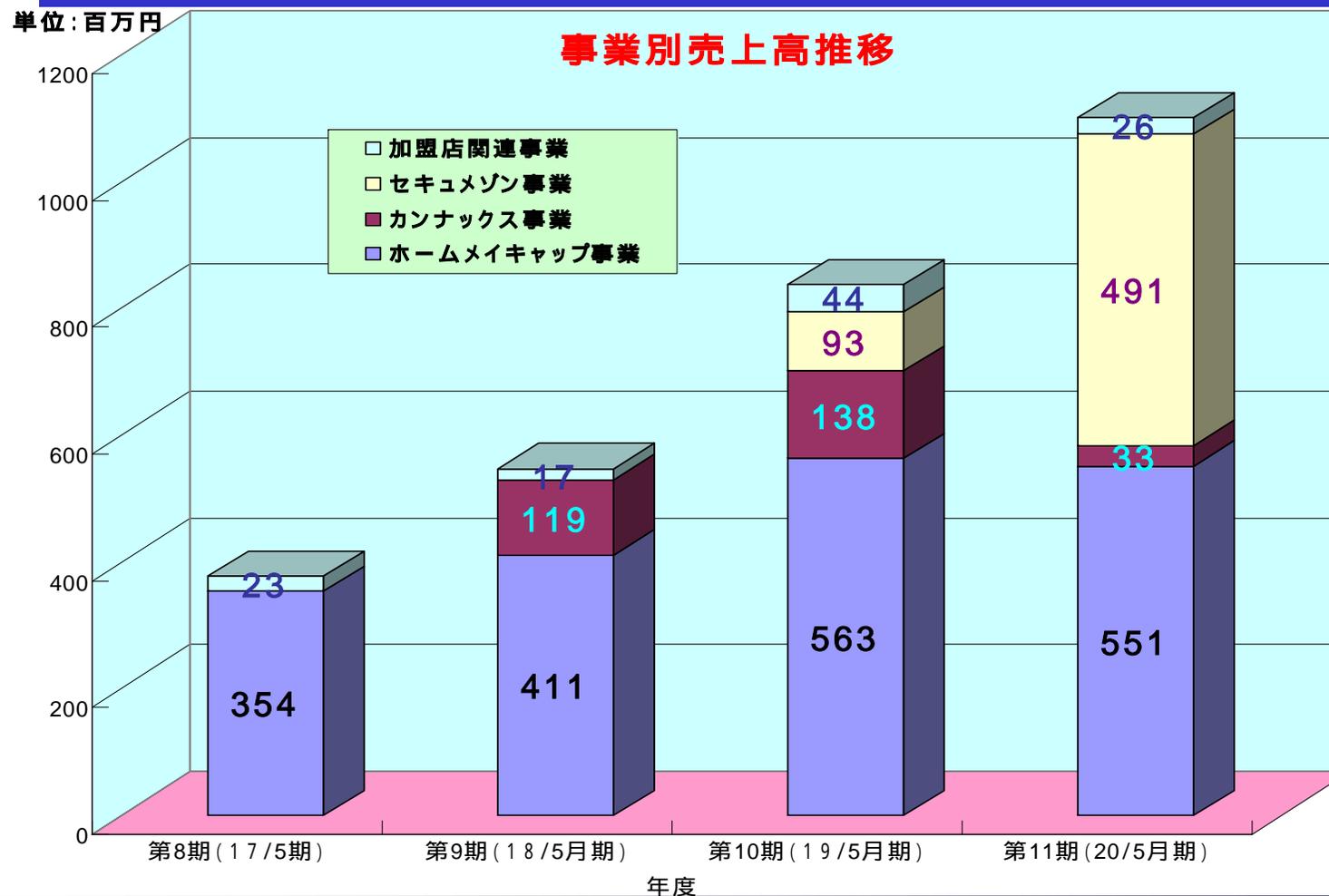


(2) 売上高セグメント別増減要因分析

不動産(セキユメゾン)が当初の計画通りに完売(93百万円 491百万円)

ホームメイキャップ事業は福岡支店を除いて順調に推移(563百万円 551百万円)

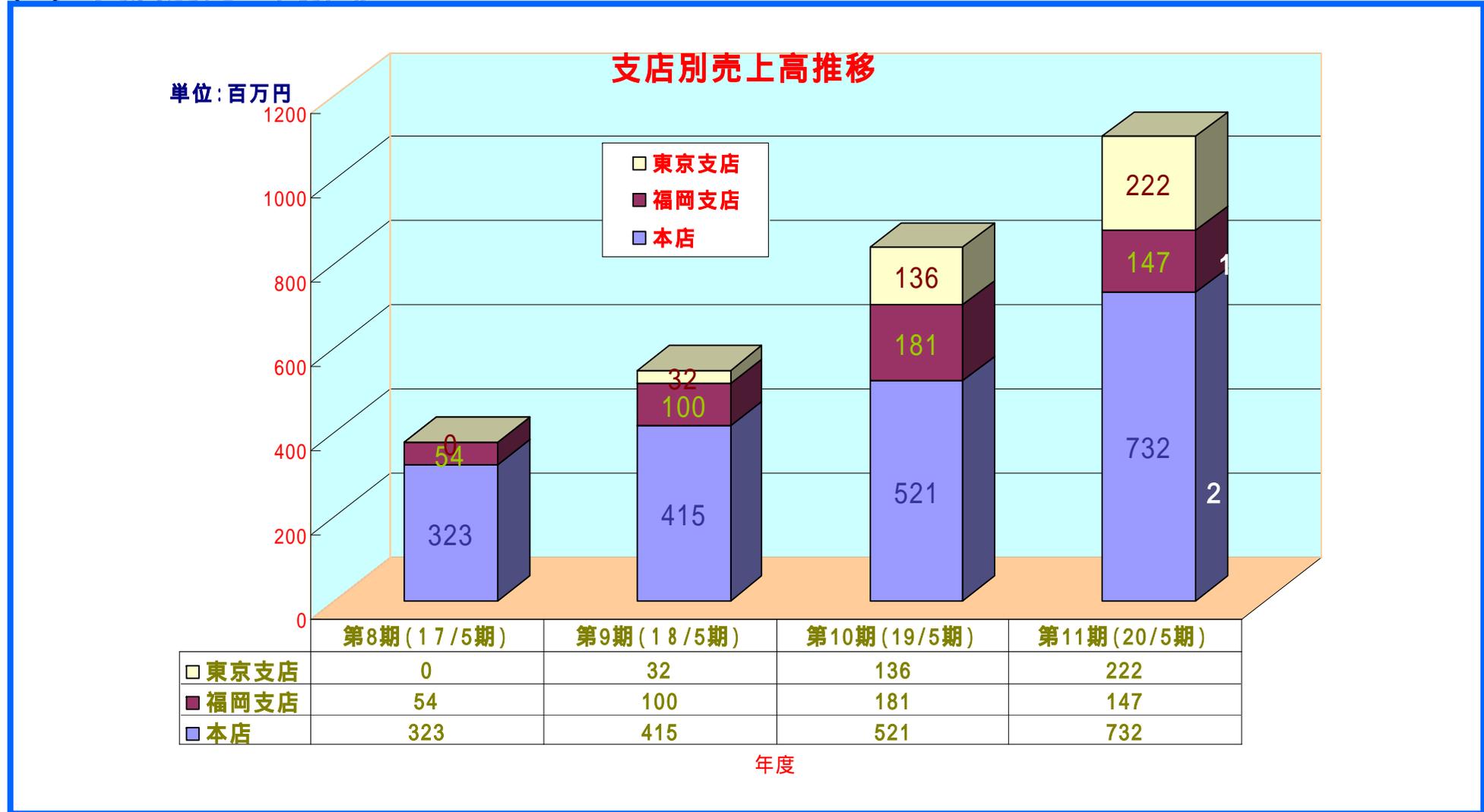
カンナックス事業は、大型工事の新築案件の受注がなかったため減少(138百万円 33百万円)



1. 第11期(20/5期)決算概要について



(3) 支店別売上高推移



- 1 大型案件の工事が翌期に持ち越されたため。
- 2 不動産(セキュメゾン)の完売によるもの。

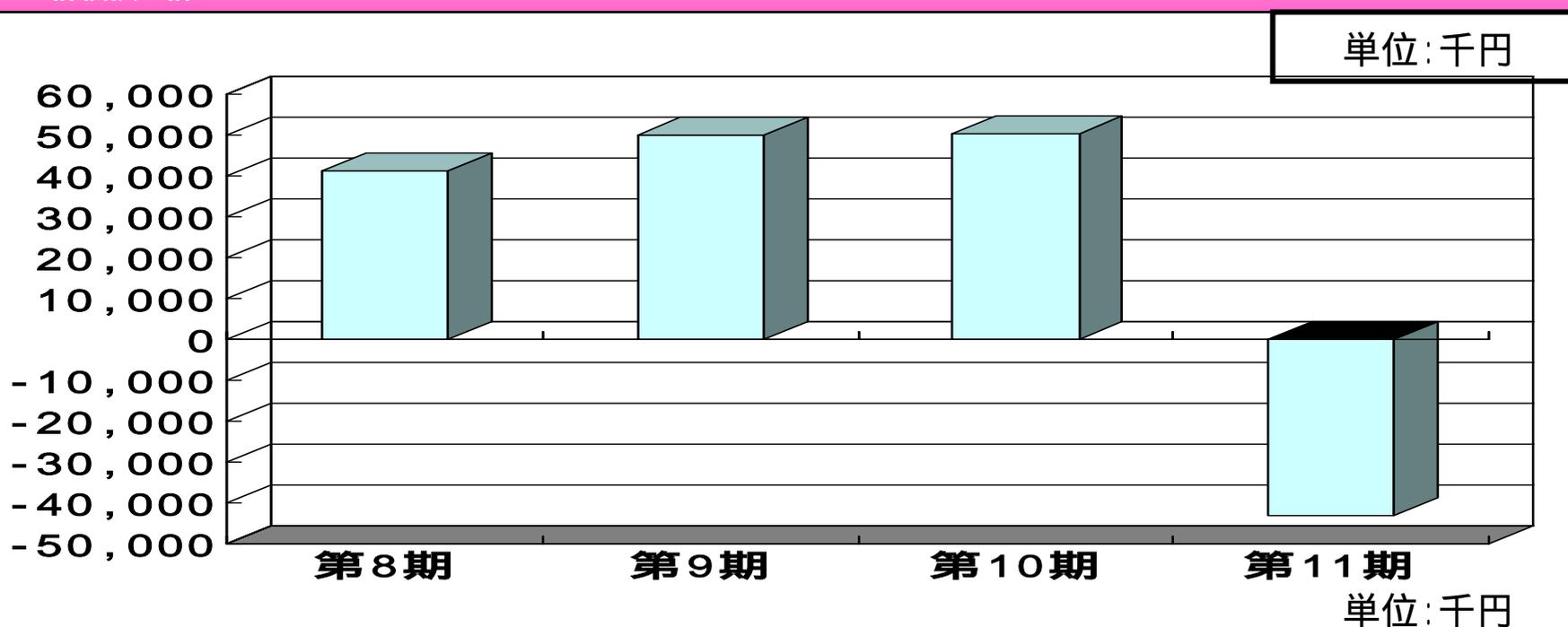
1. 第11期(20/5期)決算概要について



(4) 経常利益マイナスの要因分析

大型工事の受注増加により工事原価率が上昇し、事業エリア拡大に備え施工・営業担当者社員を採用、営業活動強化コストの発生
貸倒懸念債権の増加による貸倒引当金繰入額の増加

仕入コストの安定化を図るため導入している通過スワップ取引が、サブプライムローン問題による円高の影響を受け、デリバティブ
評価損の計上



	第8期 (平成17年5月期)	第9期 (平成18年5月期)	第10期 (平成19年5月期)	第11期 (平成20年5月期)
経常利益	41,330	49,802	50,085	43,089

1. 第11期(20/5期)決算概要について

(5) 貸借対照表の概要

～ 総資産の増加要因は、不動産(自社ビル)の取得及びそれに伴う借入金、共同事業における出資金の発生等によるもの～

		19年5月期 (百万円)	20年5月期 (百万円)	増減(百万円)
資 産	流動資産	792	614	178(販売用不動産 407、現預金+266、完成工事未収入金23、原材料+14 他)
	固定資産	36	412	+376(出資金+200、建物+68、土地50、他)
	資 産 合 計	829	1,026	+197
負 債	流動負債	469	363	106(買掛金 309、一年内返済予定長期借入金+78、未払法人税等 9、他)
	固定負債	114	329	+215(長期借入+114、社債+100)
	負 債 合 計	583	692	+109
純 資 産 合 計		245	333	+88(当期純損失 60、資本金+74、資本準備金+74 他)
負 債・純 資 産 合 計		829	1,026	+197

2. 第12期(21/5期)重点施策について



営業構造の強化

- ・既存店エリアでのパートナー確保による営業基盤強化
- ・主要都市圏における支店の設置
- ・ホームメイキャップ工法の代理店展開
- ・構造物の耐久性強化マーケットへの進出
- ・中古店舗の売買マーケットへの参入

技術力の強化

- ・スケルトンはく落防災コーティング技術のNETIS登録
- ・NETIS登録スケルトン耐震防災コーティング技術の第2ステージ研究開発
(ガラス繊維1層による耐震防災性能の充足)

施工力の強化

- ・ホームメイキャップマスターの増員
- ・施工生産性の改善強化
- ・実行予算管理システムの改善

経営管理機能の強化

- ・コンプライアンスの徹底
- ・コーポレートガバナンスの整備
- ・内部統制への対応

組織構造の強化

- ・管理職、支店長クラスの人材育成
- ・管理部門の組織体制整備

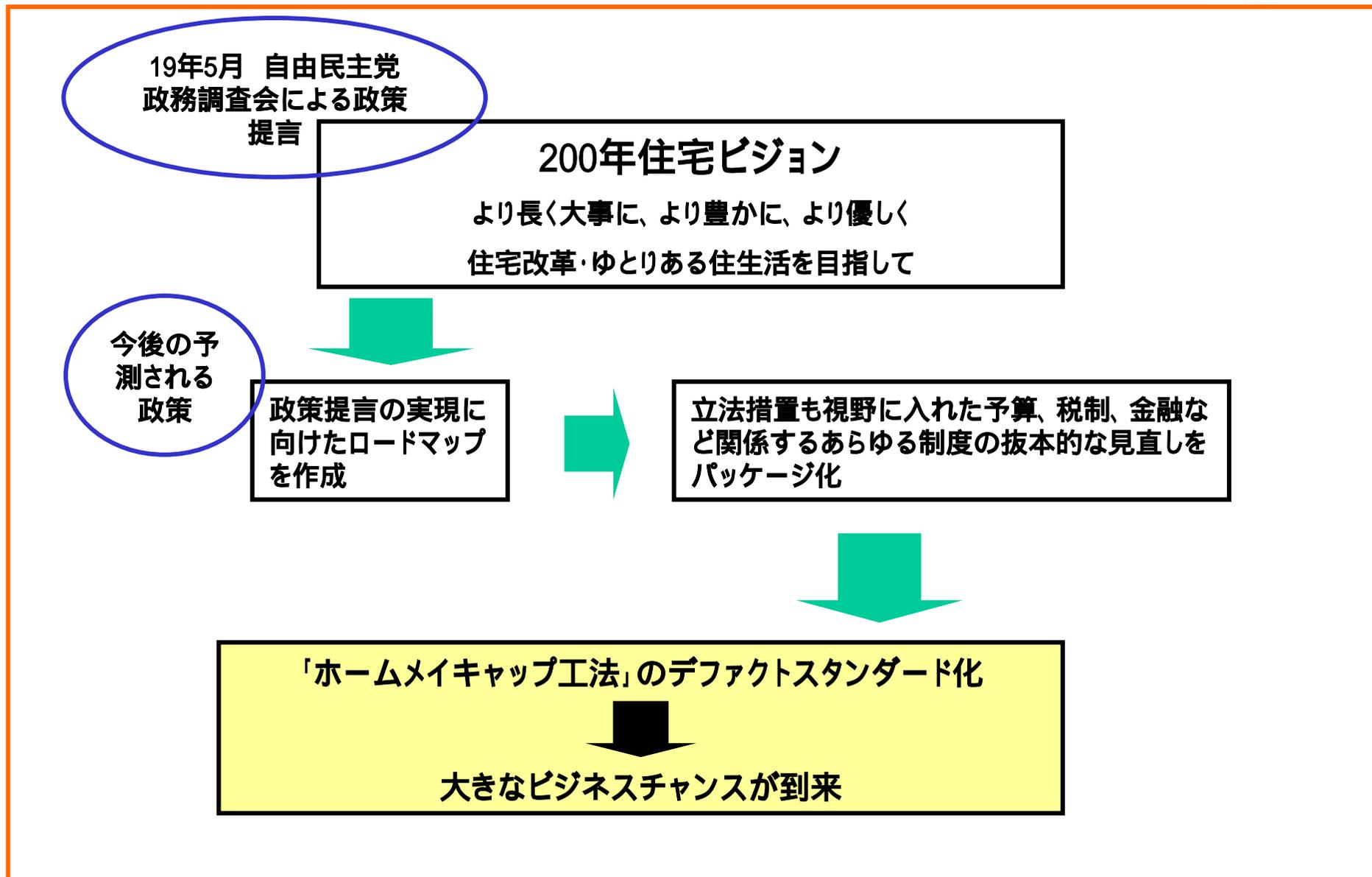
3. 第12期(21/5期)業績予想について



	18 / 5期(実績)		19 / 5期(実績)		20 / 5期(実績)		21 / 5期(計画)			
	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	中間期 金額 (百万円)	前年同期比 (%)	通期 金額 (百万円)	前年同期比 (%)
売上高	547	145.1	838	153.2	1,101	131.3	436	45.7	868	21.1
経常利益	49	119.5	50	102.0	43		8	71.4	45	
当期純利益	27	73.0	28	103.7	60		11		31	

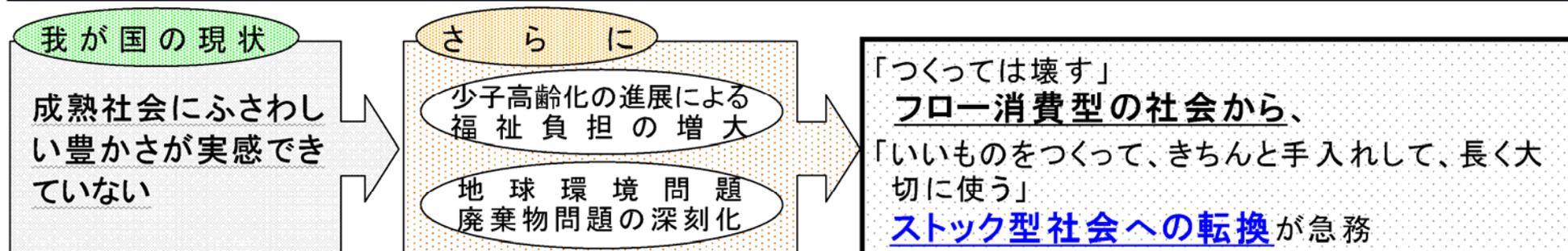
粗利益重視の工事受注体制の確立・強化を図るため

4. ホームメイキャップ事業を成功させる事業環境について

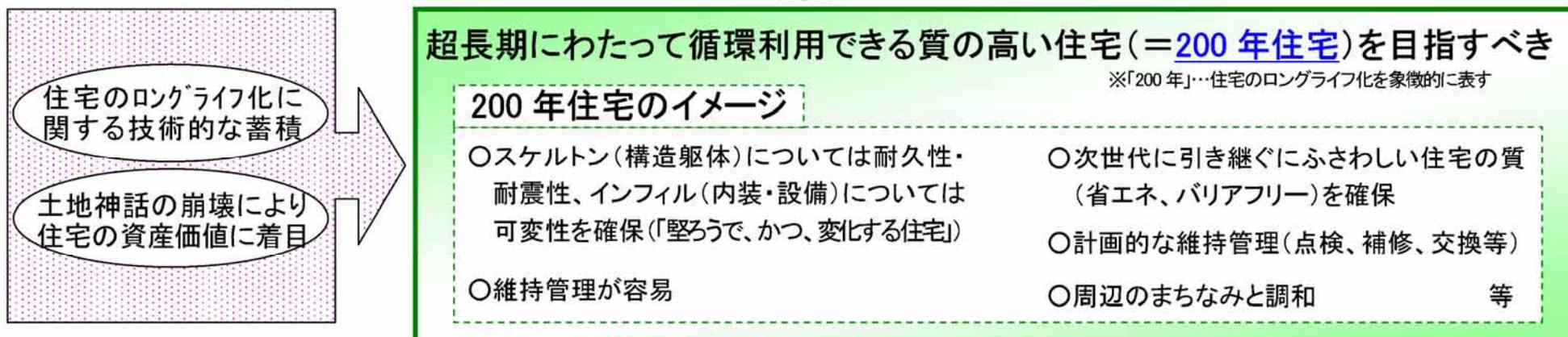


4. ホームメイキャップ事業を成功させる事業環境について

200年住宅の理念



【住宅政策】 ストック重視の住宅政策への転換 [= 住生活基本法の制定 (H18.6)]



平成19年5月 自由民主党政務調査会より

4. ホームメイキャップ事業を成功させる事業環境について



200年住宅のメリット

超長期にわたる安全な暮らしの実現

大地震にも耐え、その後も数世代にわたり使用可能

「ゆとり」のある国民生活の実現

(住宅の資産価値を超長期にわたり維持・評価)

住宅の建設・取得・維持管理のための国民負担を2/3程度に縮減可能

環境負荷の低減

・住宅関連の産業廃棄物を年間約1000万t削減可能
住宅関連の産業廃棄物は年間約1400万t(H14)

・CO2排出の削減にも資する

世代を超えて循環利用される「**社会的資産**」としての住宅

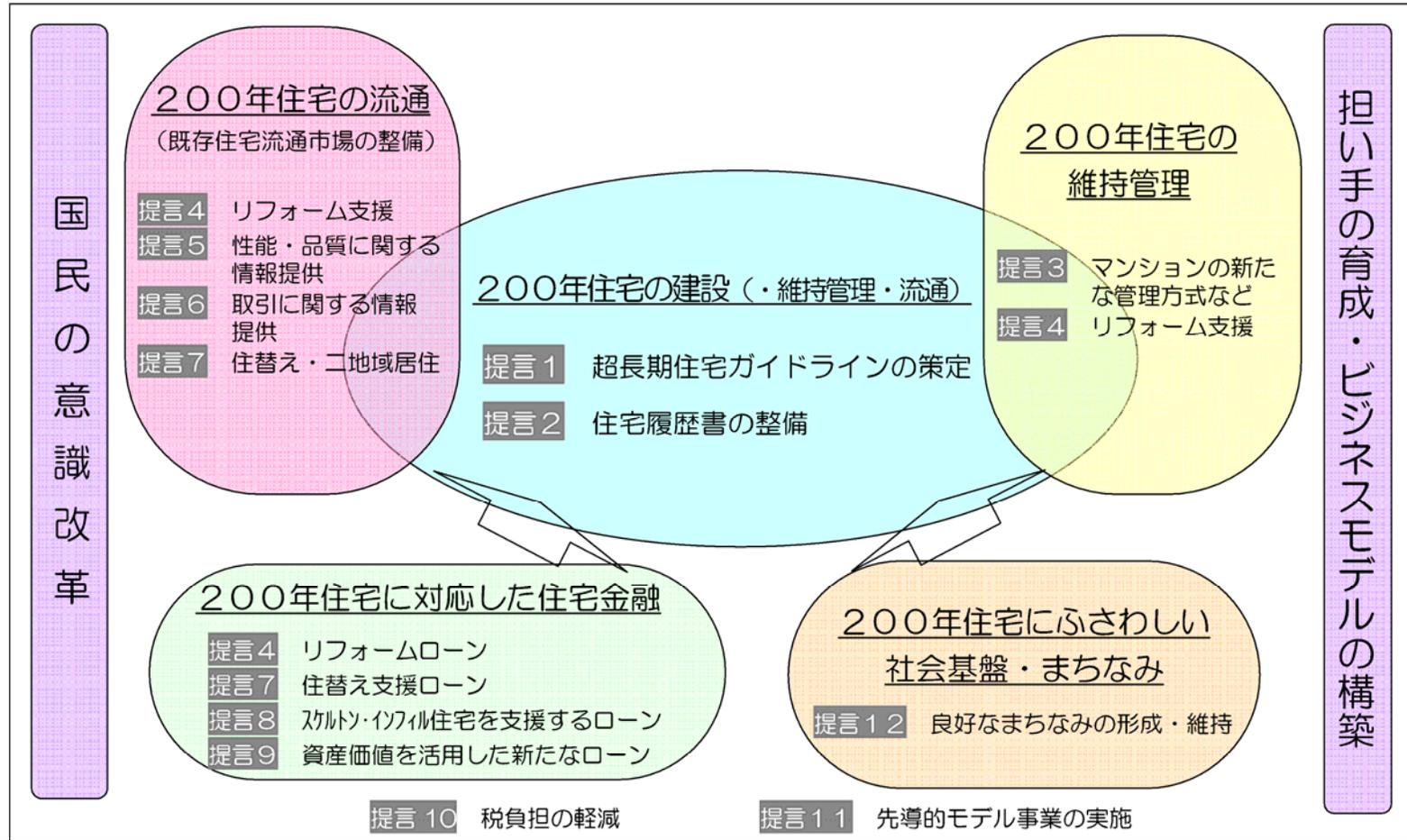
平成19年5月 自由民主党政務調査会より

お問い合わせ先: 株式会社エムビーエス(電話: 0836-37-6585(代表)/FAX: 0836-37-6586/e-mail: info@homemakeup.co.jp)

4. ホームメイキャップ事業を成功させる事業環境について



200年住宅の実現・普及に向けた12の政策提言



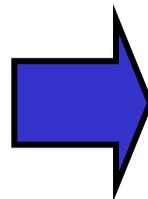
平成19年5月 自由民主党政務調査会より

5. 現在注目されている施工事例(高速道路)

(1) 岡山IC



施工前

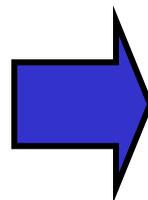


施工後

(2) 東城IC



施工前



施工後

5. 現在注目されている施工事例(JR)

トンネル本工



施工前

緩衝工



緩衝材のチューブに補強テープを貼り付けている様子



施工後

高欄



施工前



施工後

5. 現在注目されている施工事例(スケルトン耐震防災コーティング施工)



スケルトン耐震防災コーティング施工実績



施工写真(全体)



施工後(壁)



施工後(床)

6. 施工事例



病院(東京都)



ビル(東京都)



ビル(福岡県)



アパート(東京都)

6. 施工事例



ビル(福岡県) リニューアル工事



一般住宅(福岡県)



一般住宅(熊本県)

6. 施工事例



一般住宅(福岡県) 基礎コーティング



一般住宅(福岡県) バルコニー防水



マンション(福岡県) タイル目地防水工事



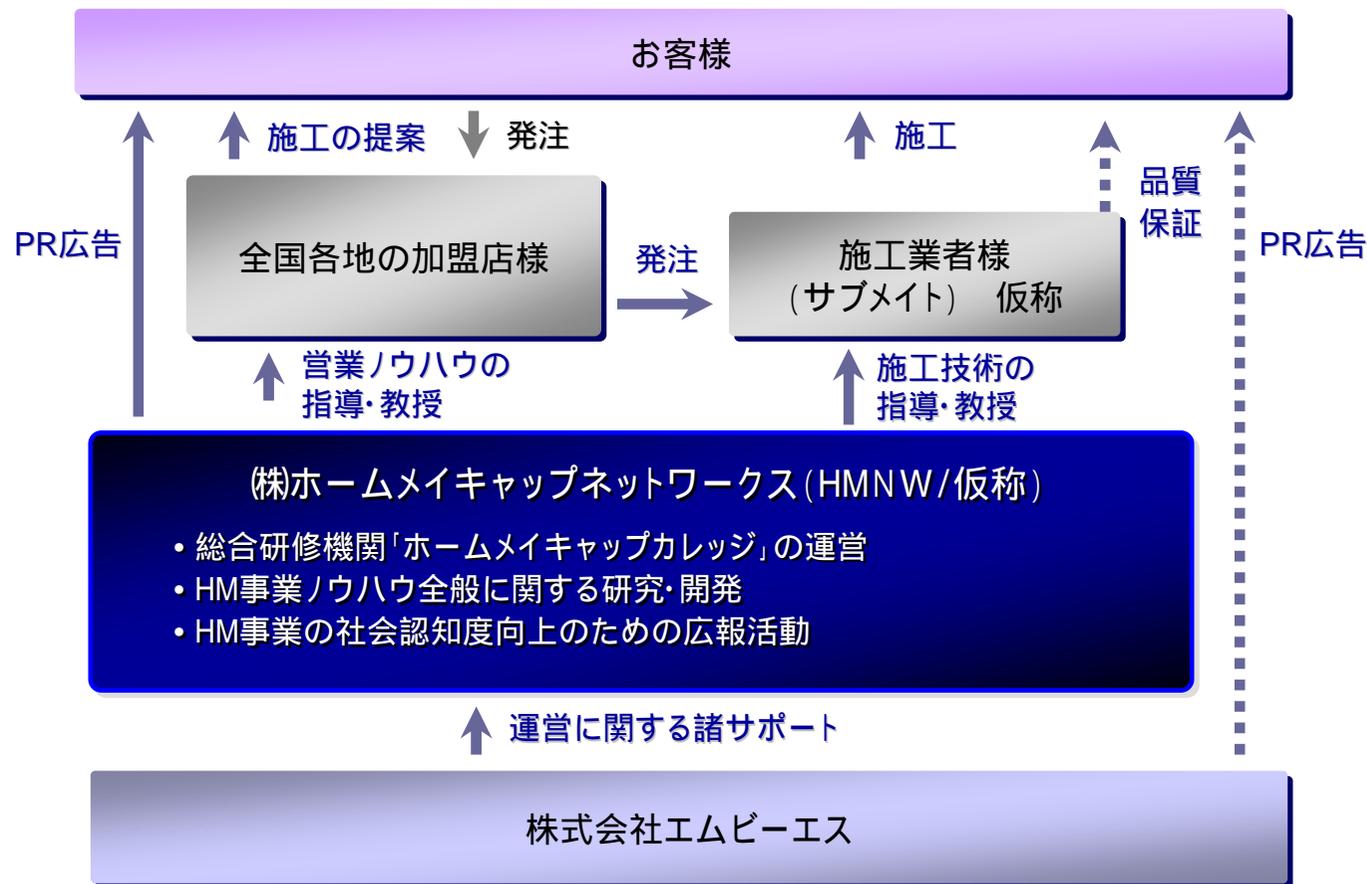
立体駐車場(福岡県) 梁補強

7. 今後の事業戦略について

ホームメイキャップネットワークスの構築

営業を担う各加盟店様と施工・技術サポートを担うMBSグループの双方を、強力に後方支援するための組織体を設立し、この組織が「核」となることで真に一体となった事業展開が可能となる

HM事業における関連図



7. 今後の事業戦略について



ホームメイキャップネットワークスの構築

全国主要地域には、MBSの直営拠点を配備することで広範な加盟店からの受注に対応できるようにする他、現地の加盟店及びサブメイトを統制・サポートすることで十分な品質管理体制を構築する

拠点展開のイメージ

